

2026年7月24日
損害保険ジャパン株式会社

相生市との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、兵庫県相生市の地域のさらなる向上を図るため、相生市（市長：谷口 芳紀）と『包括連携協定』を7月24日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

相生市は、未来の世代に引き継ぐ持続可能なまちづくりを推進しています。複雑化・多様化する行政課題に向けて、積極的な行財政改革を行いつつ、事業者、各種団体などとの協働を進めています。

損保ジャパンは1888年に日本初の火災保険会社として創業し、創業期には実際の火災現場に駆け付ける「火消し」として地域を守ってきた歴史があります。現在は、「火消しの精神」を「HIKESHI DNA」として再定義し、社会課題の解決に貢献する「HIKESHI DNA 2030 Project」を全社で展開しています。

このような背景のもと、損保ジャパンはお客さまの“安心・安全・健康”な暮らしを支える保険会社として、長年培ってきたノウハウや「HIKESHI」としての最新の知見にて相生市の発展に寄与すべく、このたびの協定締結に至ったものです。

2. 目的

損保ジャパンと相生市は、相生市が抱えている各種課題について、損保ジャパンが持つノウハウを生かして地域とともに成長すべく、地方創生に向けて取り組んでいきます。

3. 主な内容

- （１）防災・減災
- （２）交通安全
- （３）シニア・介護・ヘルスケア
- （４）産業振興
- （５）観光振興

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も相生市と連携し、地方創生サポート運動を展開していきます。また、多様なステークホルダーや代理店とともに、相生市の地域課題を解決していくことで、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

【調印式の様子】



HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である“火消しの精神”を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

以上